



2019年7月20日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
 (コード番号: 6264 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 古江 博
 (TEL. 0996-68-1140)

2019年6月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年6月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	536	71.7%	△2.2%	△33.9%
F P D分野	206	27.7%	7.8%	△40.0%
その他分野	4	0.6%	△31.8%	△45.4%
合計	748	100.0%	0.1%	△35.8%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/7	2018/8	2018/9	2018/10	2018/11	2018/12
半導体分野	741	675	606	571	534	540
F P D分野	322	239	147	158	174	164
その他分野	7	37	22	3	26	4
合計	1,071	953	776	733	736	709

区分	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4	2019/5	2019/6
半導体分野	521	458	490	555	548	536
F P D分野	174	157	169	185	191	206
その他分野	4	4	3	4	6	4
合計	701	620	663	745	747	748

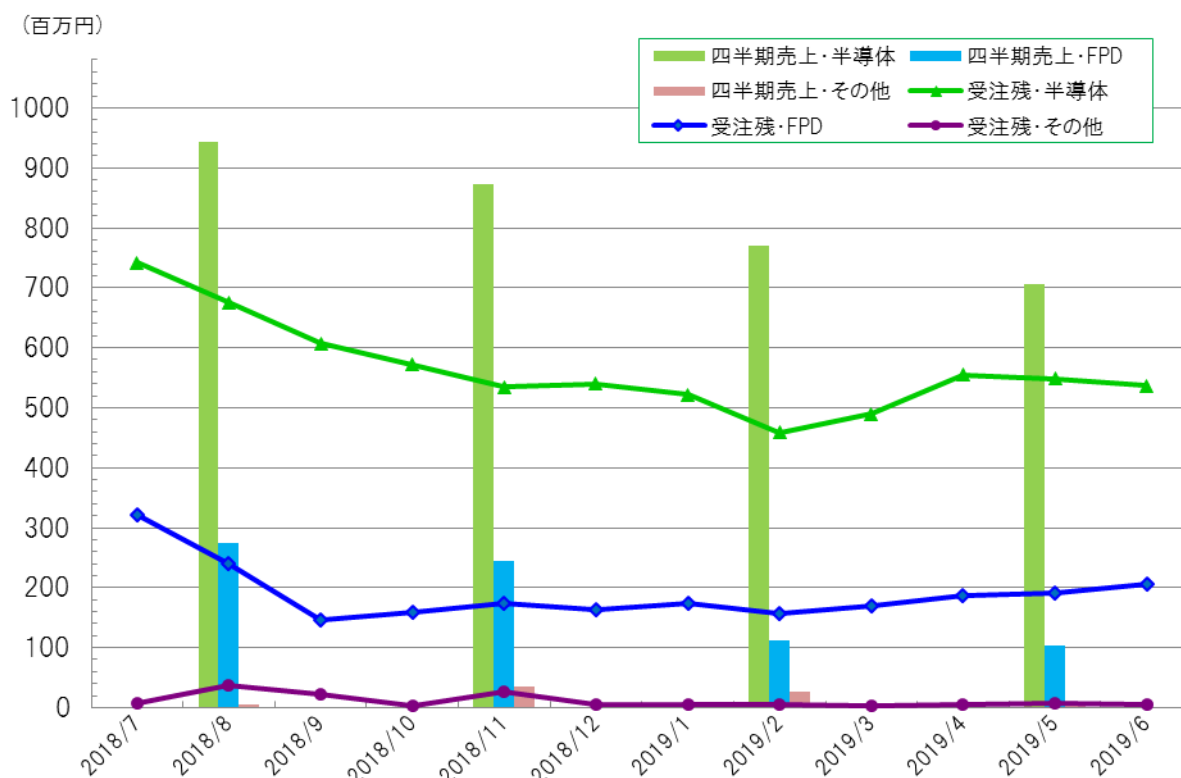
3. 月次受注残高の概況

2019年6月末の受注残高は、半導体分野においては、受注が回復傾向にありながらも出荷検収も増加したことから、対前月増減率は2.2%減、対前年同月増減率では33.9%減の536百万円となりました。FPD分野においては、中小型パネル向けの受注と出荷検収が共に回復し始めたことで、対前月増減率は7.8%増、対前年同月増減率では40.0%減の206百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年6月末の受注残高は、対前月増減率0.1%増、対前年同月増減率35.8%減の748百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体分野では、ロジック向けの需要が高まりながらもメモリ向けの需要には不透明感があり、総合的には横ばいから若干回復傾向となる見通しです。また、一部の顧客については回復の遅れが継続しており、得意分野によって濃淡が分かれる状況が続いております。FPD分野では、中国における中小型有機EL設備投資向けの受注が始まり、来年に向けて好調に推移する予想です。さらに、当社が新たに設置した電子ビーム溶接機を活用した受注も始まっており、受注できる工程が拡大していることから来期にかけては好調な推移が続く見通しです。その他分野につきましては、当社生産能力の空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っておりますが、想定よりも受注が遅れており、当期内に出荷予定だった1億円程度が厳しい見通しとなっていることから、回復しつつある別分野にて売上拡大を図っております。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



- 注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。
- 注2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。